

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019/11/11

2020年3月期 第2四半期 決算説明と通期の見通し

2019/11/11

創立70周年

ShinDengen
New power. Your power.

ShinDengen



ISO14001登録証
2015年度版は2018年に取得

初の海外生産拠点（独資）、新電元タイランド設立



社章制定
新電元工業株式会社創立

東証1部銘柄に指定替え
東証2部上場

新事業所設立決定

ブランドロゴ刷新

オフィシャルWEBサイト開設

ISO14001認証取得

ISO9000認証取得

シリコンダイオード開発

電話局用セレン整流装置納入開始



2019

2018

2016

2012

2010

2002

2001

2000

1999

1994

1988

1987

1986

1982

1976

1973

1972

1968

1961

1957

1955

1950

1949

90kW急速充電器開発



パワーモジュール事業本格参入
高周波絶縁型パワーコンディショナ開発
SiCショットキーバリアダイオード開発
環境対応車向けDCDCコンバータ開発

二輪車向けECU開発



パワーIC商品化
パワーMOSFET開発
D70交換機用Pkg電源納入開始
二輪車向けレギュレータ開発

ユニーク商品を次々開発
ガラスパッシベーション技術開発

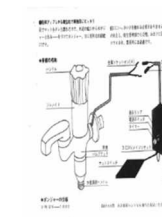
過去販売していた主な当社製品



緊急信号灯



小型軟水器



足踏み水道蛇口



超音波シミ抜き機

当社は創立70周年を迎えました。

上期連結業績

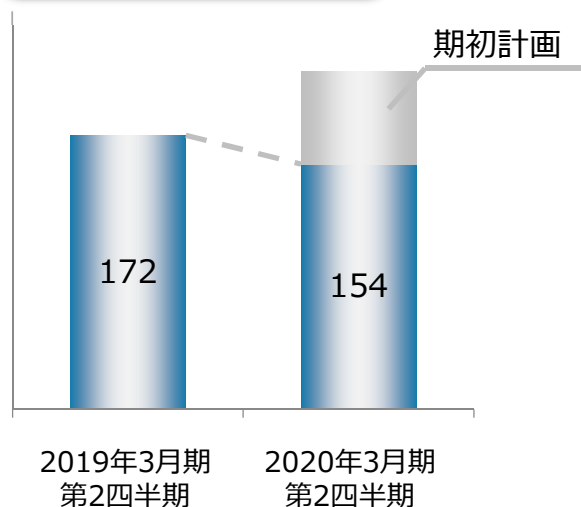
単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
売上高	466	454	▲2.5%
営業利益	29	10	▲66.2%
経常利益	32	10	▲68.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23	9	▲61.0%
営業利益率	6.3%	2.2%	▲4.1pt.
ROE	7.9%	3.1%	▲4.8pt.

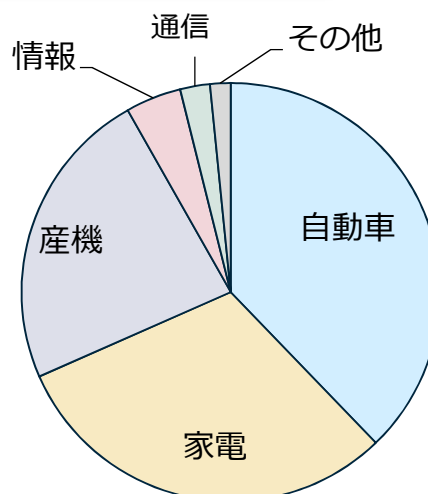
◆主に半導体需要が回復せず、減収減益。

上期連結業績（デバイス）

セグメント別売上高



市場分類別構成比



2020年3月期第2四半期

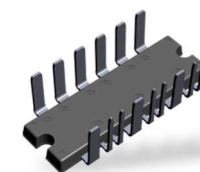
事業概要

【主要製品】

- ・ダイオード
- ・MOSFET
- ・パワーIC、パワーモジュール
- 他

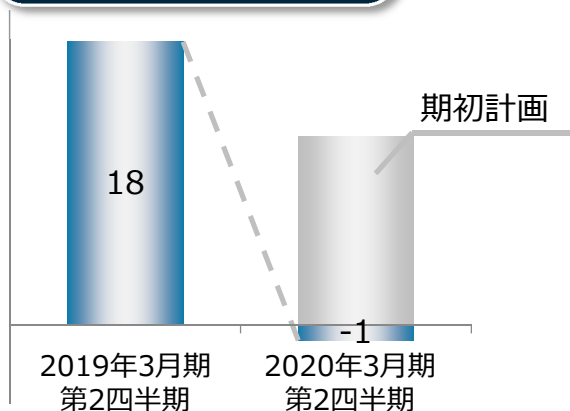


ブリッジダイオード
D35XB80



パワーモジュール
MG031

セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

市場動向

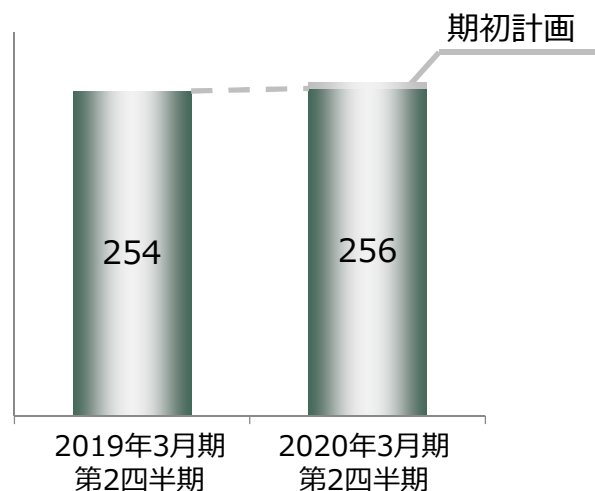
昨年から続く半導体需要の冷え込みが継続。

当社の状況

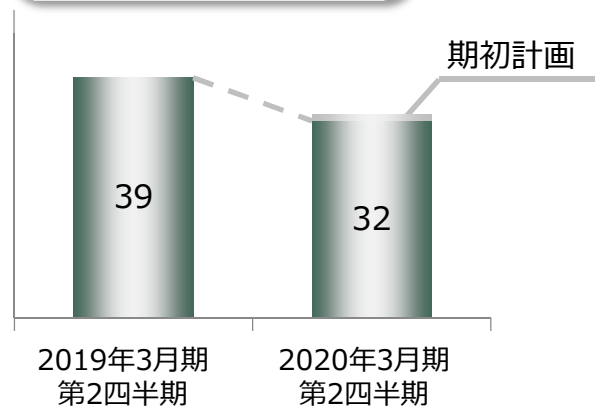
主力の自動車、産機、家電市場がそれぞれ低調に推移。
減収の影響および稼働率の低下等により、減益。

上期連結業績（電装）

セグメント別売上高

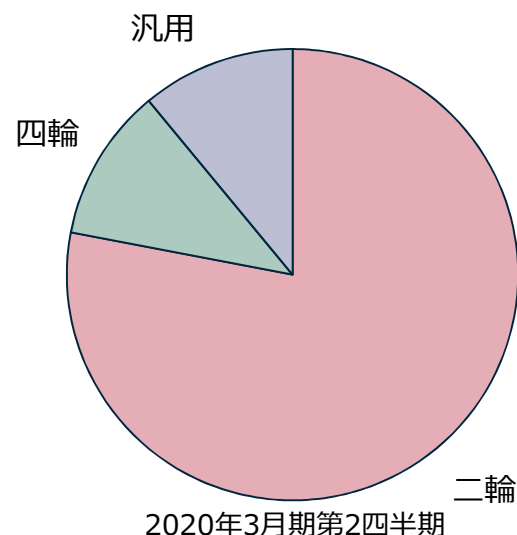


セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

製品分類別構成比



市場動向

アジア二輪市場は、インドなど減速傾向。
インドネシアは堅調に推移。

当社の状況

インドネシアで売上を伸ばしたものの、
製品構成の変化や、アジア通貨安の影響で減益。

事業概要

【主要製品】

- ・二輪車用レギュレータ、CDI、ECU
- ・四輪車用DC/DCコンバータ
- ・発電機用インバータ

他



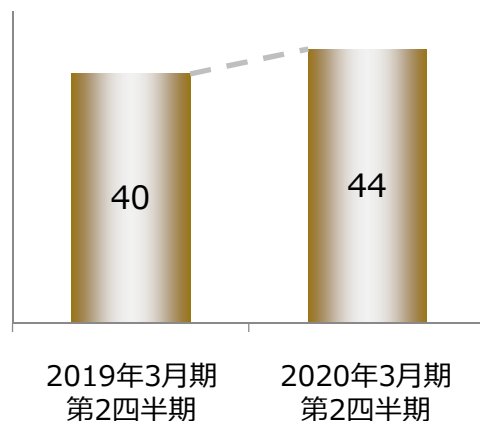
二輪車向けECU



レギュレータ

上期連結業績（その他）

セグメント別売上高



事業概要

【主要製品】

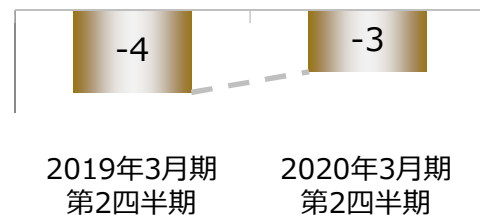
- ・ 通信装置用整流器
- ・ EV/PHEV用充電器
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ アクチュエータ

他



通信装置用整流器

セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）



パワーコンディショナ



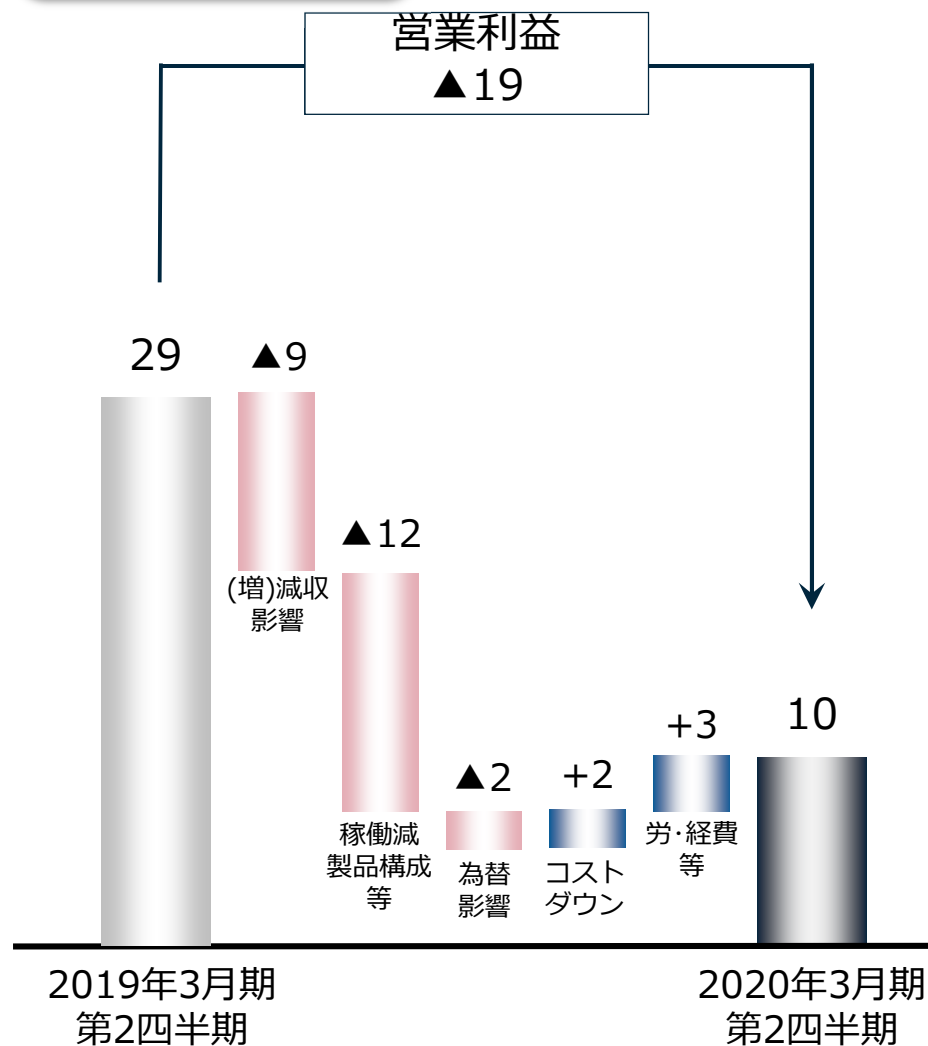
EV/PHEV用充電器



アクチュエータ

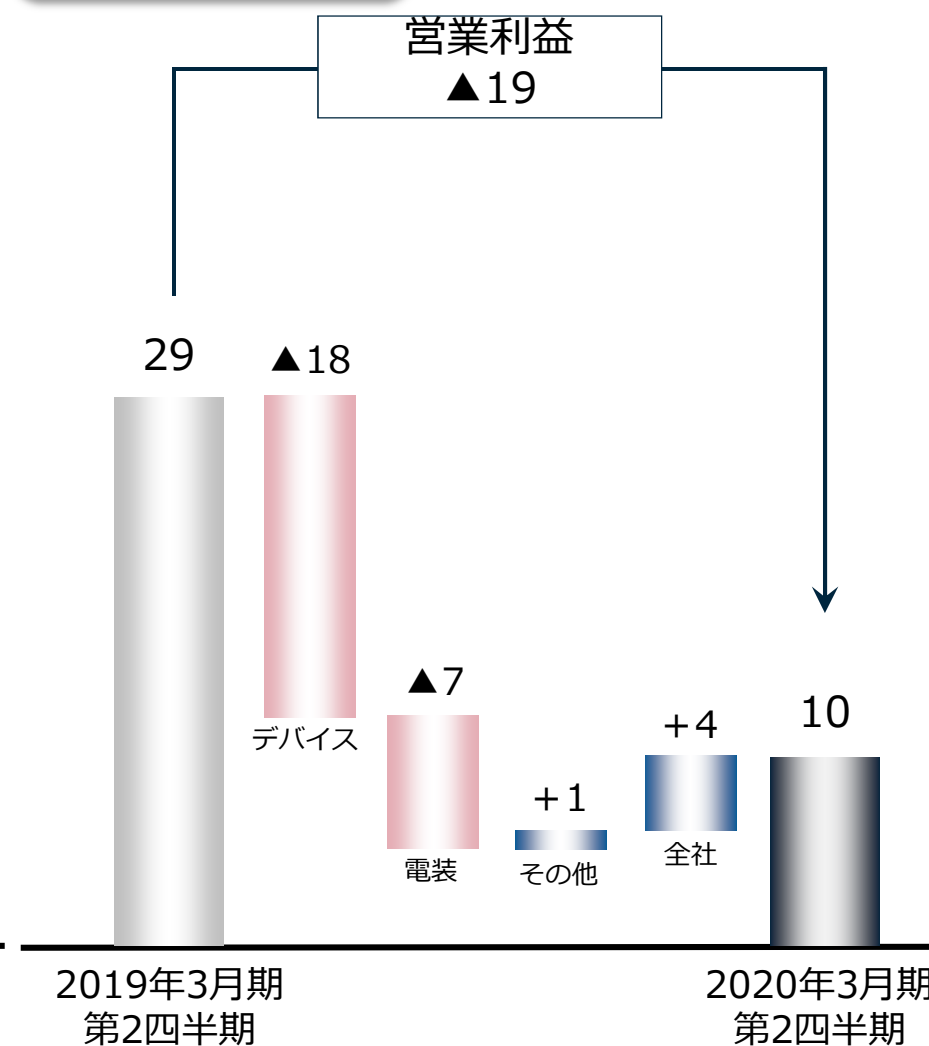
営業利益の増減（前年同期比）

要因別増減益分析



セグ別増減益分析

単位：億円（億円未満四捨五入）



補足指標等

設備投資・減価償却・研究開発

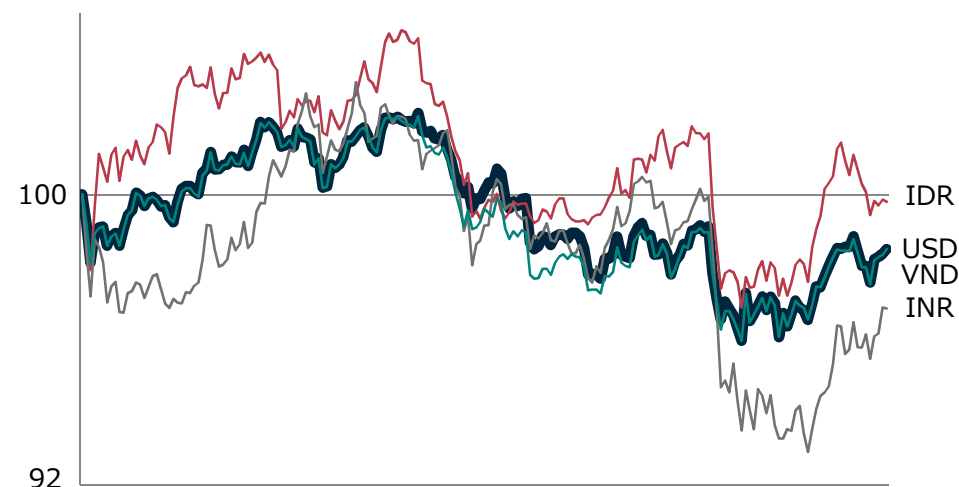
単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
設備投資	30	63	+108.6%
減価償却費	23	24	+4.7%
研究開発費	27	25	▲7.6%

為替レート

単位：JPY/USD

	2020年3月期 第2四半期 実績
換算為替レート	110.11
平均為替レート	109.40



※2019年1月1日時点の為替レートを100として9か月間の推移を指数化

- ◆ USドルは概ね計画に近い推移だったが、アジア通貨が大きく変動。

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	増減
流動資産	799	760	▲4.9%
固定資産	488	534	9.4%
資産 合計	1,287	1,294	0.5%
流動負債	301	302	0.4%
固定負債	391	403	3.1%
負債 計	692	705	1.9%
純資産	595	588	▲1.0%
総資産 合計	1,287	1,294	0.5%
自己資本比率	46.2%	45.5%	▲0.7pt.
有利子負債残高	278	288	3.9%

通期連結業績予想

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初計画	2020年3月期 修正予想
売上高	947	1,000	941
営業利益	56	50	15
経常利益	60	57	17
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	42	14
営業利益率	6.0%	5.0%	1.6%
ROE	6.5%	6.8%	2.4%

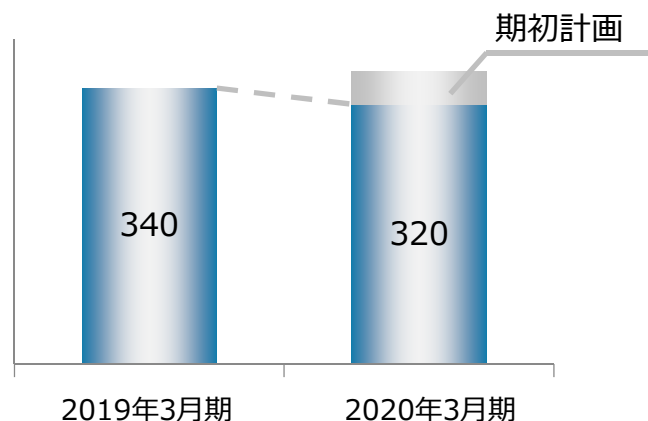
◆ 上期業績と足もとの動向をふまえ、通期業績予想を修正。

通期連結業績予想（セグメント別）

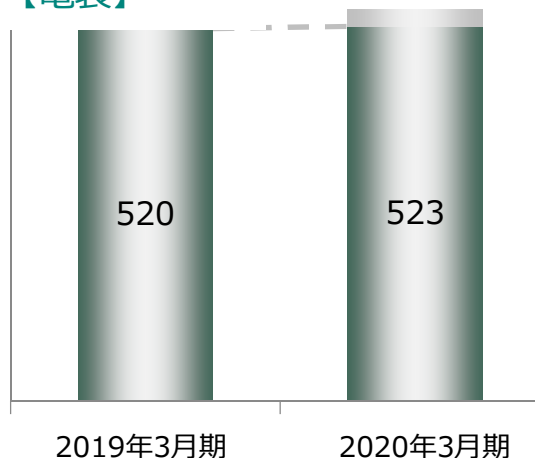
セグメント別売上高

単位：億円（億円未満四捨五入）

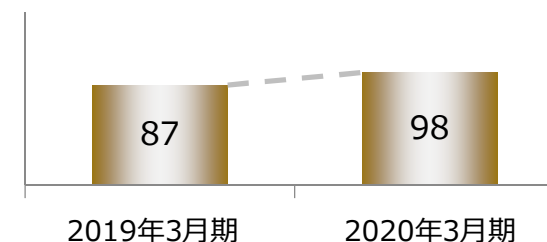
【デバイス】



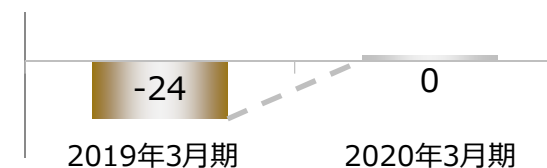
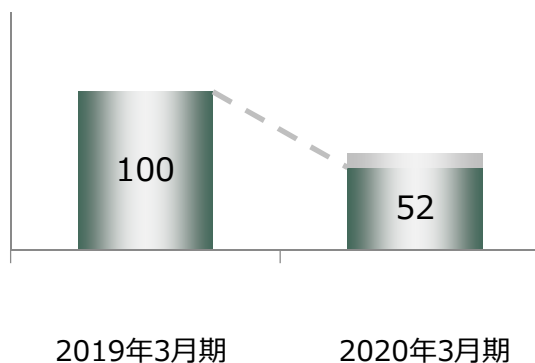
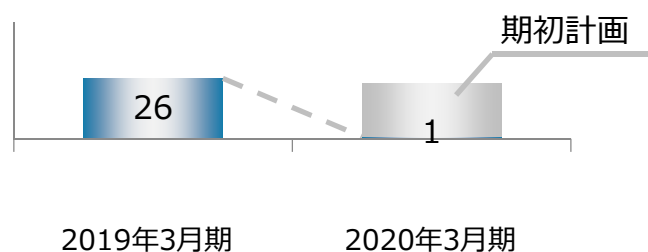
【電装】



【その他】



セグメント別営業利益



【デバイス】 半導体需要の低迷で減収減益を見込む。

【電装】 前期にあった製品保証引当金戻入の影響消失もあり、減益を見込む。

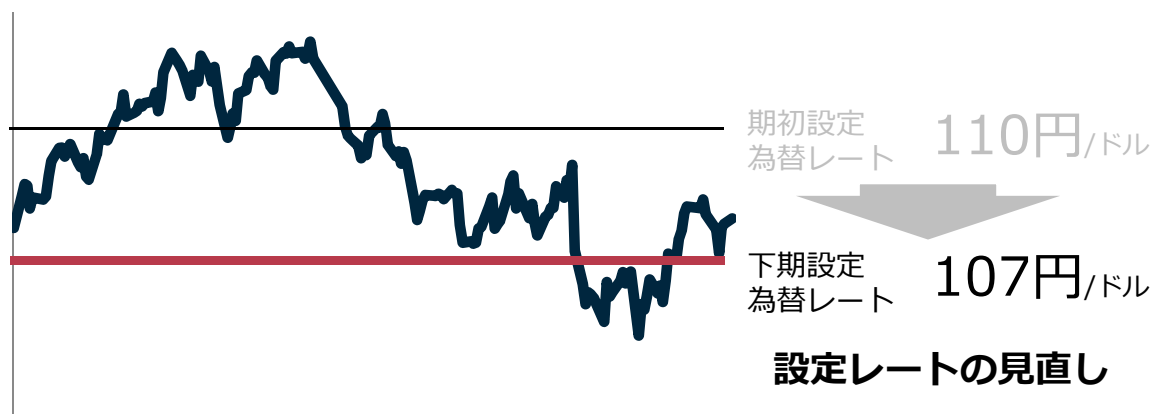
設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比
設備投資	70	105	+50.5%
減価償却費	50	53	+5.6%
研究開発費	56	52	▲6.5%

為替レート

JPY/USDの為替推移（2019年1～9月）



配当金

1株あたり配当金（年間）

2020年3月期
期末配当金として

1 2 5 円

を予定

（前年比±0）

大電流ブリッジダイオード D35XB80



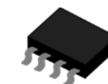
業界標準5Sパッケージに
当社独自構造を組み合わせ
35Aの出力を実現

従来比 **40%**
容量増

車載向けMOSFET LFパッケージ 製品拡充

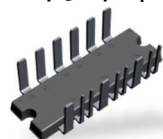
Cuクリップ構造により、超小型大電流化を実現
従来比

約 **75%** 減の容積
2019年度、計25品種量産化



パワーモジュール MG031

シナジー効果で、競争力のある電装製品を
インド市場へ投入

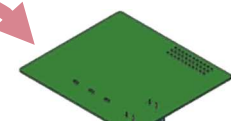


ECU
従来比 **35%**
小型化



パワー部実装面積
22cm²

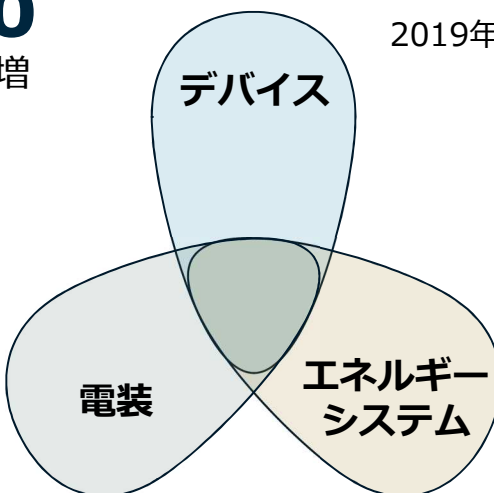
ディスクリート搭載時



パワーモジュール
MG031

パワー部実装面積
8.8cm²

モジュール搭載時



5G対応通信用整流装置 48V600A

業界最高水準の変換効率
ユニット体積従来比

50% 小型化



高効率50Aユニット



中容量システム

新事業所の設立

ShinDengen
New power. Your power.

新事業所概要



所在地 埼玉県朝霞市幸町
敷地面積 約29,600㎡
延床面積 約28,500㎡
投資金額 120億円（建物等）
用途 事務所および研究施設



2021年4月
開業予定

コンセプト

機能集約と生産性向上



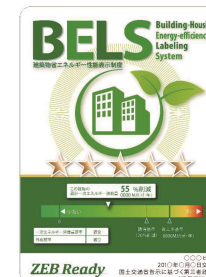
一体感の形成



環境先進



ZEB Ready*¹
認証取得予定



※ZEB Readyの
表示プレート例

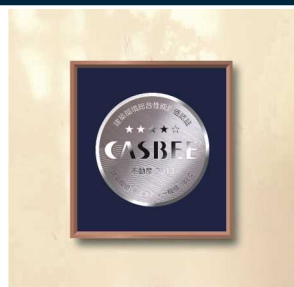
快適性と働きやすさ

健康

知的
生産性

CASBEE*²・

CASBEEウェルネスオフィス*³
認証取得予定



※CASBEEの表示プレート例

安全と安心

BCP

高耐震構造



- * 1 建築物の省エネルギー性能の表示制度（BELS）における最高ランク取得の中で、更に省エネルギー性能に優れたものをZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready等で認証される。
- * 2 建築環境・省エネルギー機構（IBEC）による建築環境総合評価システムで、5段階の「★」で評価される。
- * 3 CASBEEに加え、建物利用者の健康性、快適性の維持・増進を支援する建物の仕様、性能、取組みなど、より広範な項目評価がされる。

私たちの約束

「声を聞き、先を読み、価値ある未来を創る」を具現化していく

SDGsへの取組み

SDGsの定めるゴールから、
グループマテリアリティを選定。
企業ミッションのもと、
環境配慮型製品の開発を推進する。

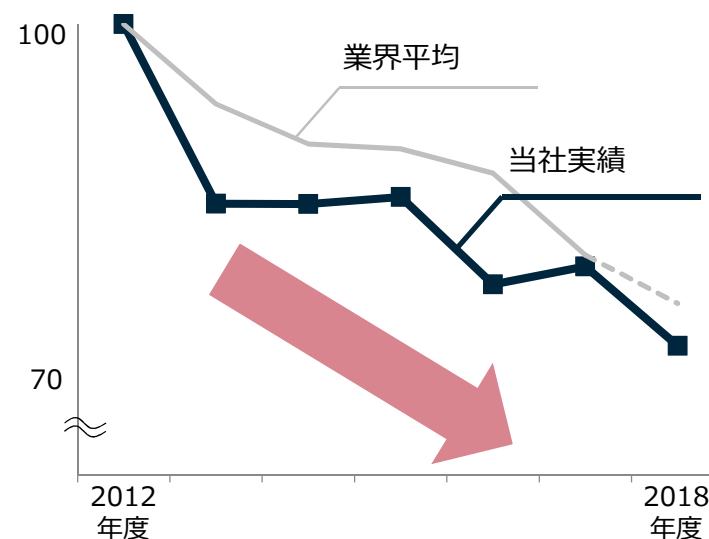


【SDGsゴール7】
全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。

【SDGsターゲット7.3】
2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

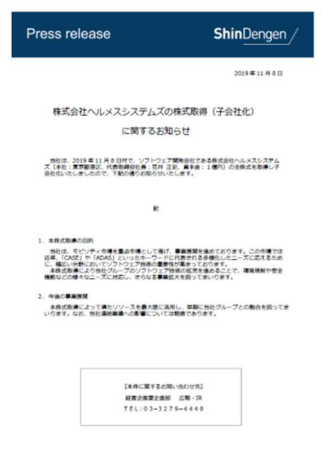
CO₂排出量削減

国内グループ会社の、
排出削減取組み。



※2012年度を100としたエネルギー原単位削減率
当社は「電気・電子業界」低炭素社会実行計画に参加。

□11月8日リリース 株式会社ヘルメスシステムズの 株式取得（子会社化）に関するお知らせ



会社概要

会社名 株式会社ヘルメスシステムズ
設立 1991年11月27日
資本金 1億円
事業内容 ソフトウェアの開発

目的

当社グループのソフトウェア技術の拡充

電装事業を中心に環境規制や安全機能など、
様々なニーズに対応した製品開発を行う。

重点市場と位置付けるモビリティ市場への
事業強化を進め、拡大を図る。



ご清聴ありがとうございました。

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。